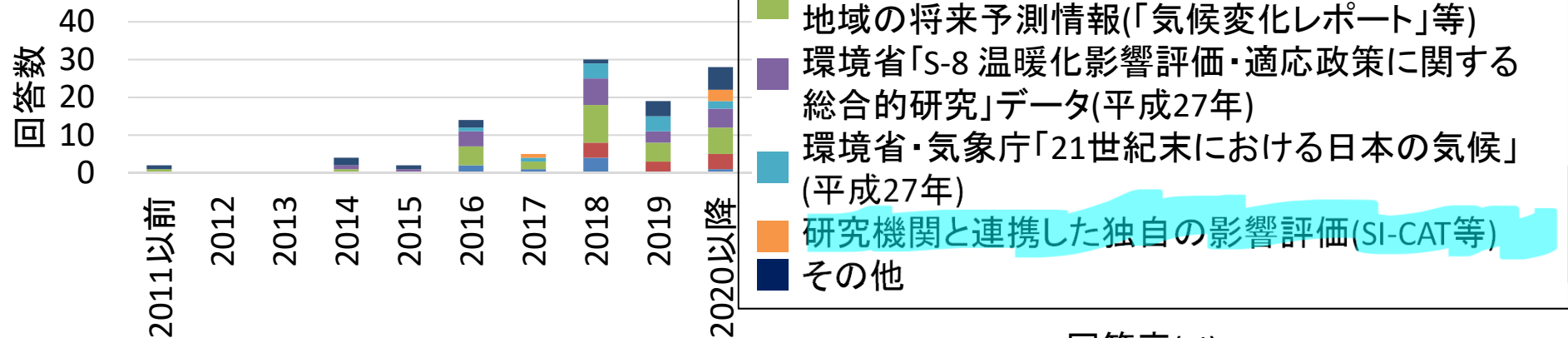


# パネルディスカッション資料

東京都市大学 馬場健司

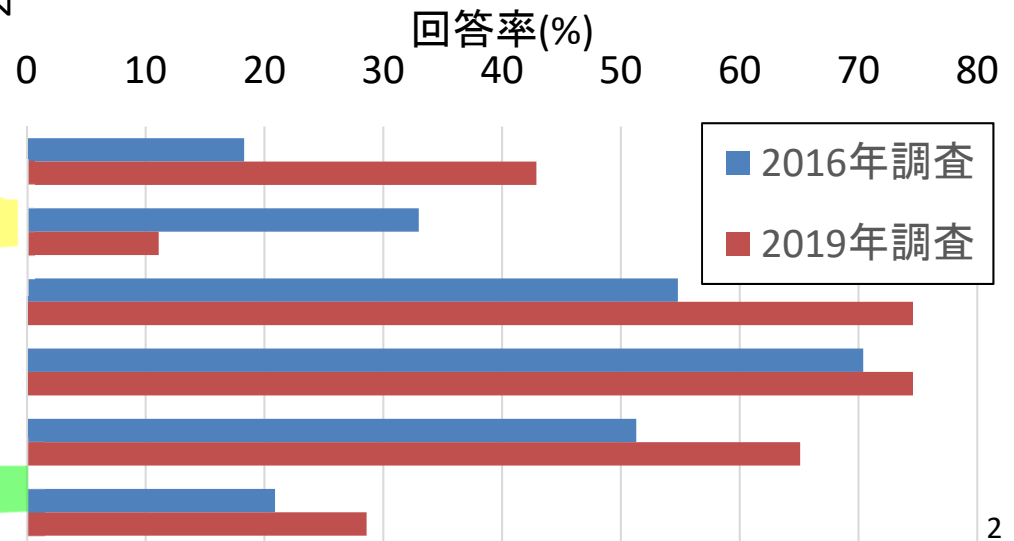
# 地方自治体の気候変動適応計画と科学的知見

適応計画の最新策定年別にみた  
引用された科学的知見



適応策の検討・推進上の課題(上位の抜粋)

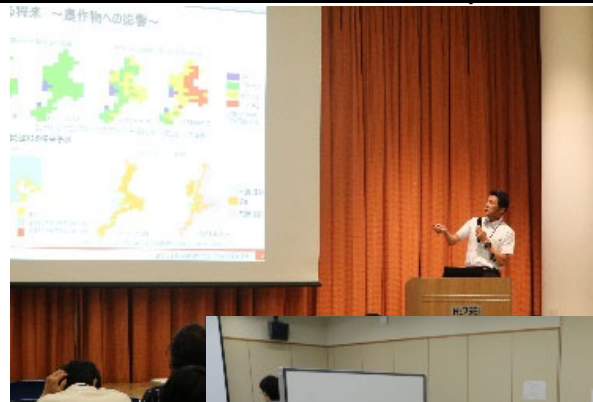
- 政府や上位自治体等からの補助金の不在
- 国や他の自治体との情報交換の不足・欠如
- 行政内部での予算措置の困難・資源不足
- 行政内部の経験・専門性の蓄積不足
- 行政内部署間の優先度を巡る認識の相違
- 科学的知見の行政ニーズとのミスマッチ



# 科学的知見を翻訳する取り組み

適応自治体フォーラム・コデザインワークショップ(科学者と政策担当者との対話)

第4回	
日時	2019年8月28日(水) 終日
参加者	文科省, 環境省, 農水省, 国交省, 気象庁, 全国の自治体・地方環境研究所, コンサルタント, SI-CAT技術開発機関, 社会実装機関, モデル・ニーズ自治体他 計約140名
議事次第	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 話題提供<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 近未来予測とダウンスケーリング, 気候変動の影響評価技術の開発</li><li>➢ 気候変動適応法と地域適応コンソーシアム事業</li><li>➢ SI-CATでの防災/農業/暑熱のシーズとニーズの社会実装に向けた動き</li></ul></li><li>・ 環境/防災/農業/暑熱分科会(小グループワークショップ)<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 課題: 現在の影響・ニーズとシーズの理解, 2/4°C昇温時(今世紀中頃)を想定した場合の影響想定と課題の検討</li><li>➢ 各小グループからの報告</li></ul></li></ul>



3



SI-CAT

統合的気候モデル高度化研究プログラム/令和元年度公開シンポジウム/東京都市大学 馬場健司  
2019/10/21@一橋講堂



# 科学的知見を翻訳する取り組み

地域適応シナリオの構築(科学者と政策担当者, ステークホルダー, 市民との対話)

ステークホルダー分析

自治体各部署, 河川管理者, 漁業関係者, 事業者組合, 民間企業・個人, NPO等 計約30団体(現場知収集)

ステークホルダー会議

ステークホルダー分析結果の共有, 基本的専門知の提示, グループ討議(現場知収集)



シナリオプランニング

デルファイ法による地域の気候シナリオ, 地域社会経済シナリオの検討(専門知収集)

シナリオワークショップ

シナリオ提示と, 市民・ステークホルダーパネルと専門家パネルとの協働によるアクションプランの案出(専門知・現場知の統合化)

	現在はこうなっている⇒	現時点から将来をみるとどのような変化が生じる可能性がある⇒	【成り行き未来】このまま何もしないと～である	【理想的な未来】理想的には～である
1				
・				
15				

